

# 渋谷区の未来を明るく照らす、確かな歩み。

渋谷のラジオで出張インタビュー // 清く正しい選挙の実現に向けて活動する、明るい選挙推進委員の皆さん。今回は7月2日(日)の東京都議会議員選挙を前に、5人の委員に日々の活動や目標などを伺いました。



若い世代が活発な渋谷区で、10代の投票率が高いのはとてもうれしいです。

こやまれいこ  
代表 氷川地区 小山玲子さん

### —— 明るい選挙推進委員の活動内容について教えてください。

小山：明るい選挙推進委員は、3大目標に掲げている「選挙違反のないきれいな選挙を行うこと、すべての有権者が投票に参加すること、政治や選挙に関する意識の向上」を推し進めるために活動を行なっています。各地区で行われるイベントに参加して選挙に関する広報誌を配布したり、スピーチをしたり、声かけをしたりと活動は多岐にわたります。また、「話しあい活動」という、政治や選挙に対する理解を深めるための活動も行なっています。

遠藤：私たちの活動でまず伝えたいことは、明るい選挙推進委員は、特定の政党や候補者を支持しているわけではなく、選挙そのものに参加してほしいという思いで活動をしていることです。選挙というと、堅苦しいイメージもありますが、地域の方とのコミュニケーションを通して、その意味や大切さをお伝えしています。

布上：千駄ヶ谷地区では、年に2回のお祭りで、期日前投票のやり方がわかる簡単な掲示物を作って、選挙に関するクイズを出すなど、楽しく選挙を知っていただけるような取り組みをしています。特に若い世代の皆さんには、選挙に参加することで自分たちの意見が政治に反映されているということを理解していただきたいと思っています。

竹村：西原地区でも、毎年5月に開催されるせせらぎまつりで、区内の各小中学校の児童・生徒が描いた選挙に関するポスターを展示しています。選挙推進委員全体での取り組みとしては、11月にはくみんの広場があり、ティッシュペーパーやハンカチなどの啓発物を配布しながら、一票の大切さや、若い人たちに選挙の重要性を呼びかけています。

### —— 先ほど話のあった「話しあい活動」とは、どのような活動ですか？

小山：各地域の施設などで行われている集まりに参加し、選挙についての説明や意見交換をしています。少人数の仲間内で話していると、いろんな意見が出てくるので、それらを吸い上げて選挙管理委員会へ伝えていきます。

福島：長い歴史がある「話しあい活動」には、選挙の仕組みをも変える力があります。そのことを1人でも多くの方に知っていただきたいですね。

### —— 活動の中でやりがいを感じるのはどんな時ですか？

布上：明るい選挙推進委員として日々活動していることで、近所の人たちが私の顔を見かけて「選挙に行くからね」と話しかけてくれたり、選挙当日に投票所で立ち会いを行っていると「来たよ」と言ってくれたりするようになりました。私のことを見て、選挙のことを思い出してくれるようで、ちゃんと思いが伝わっているんだと感じました。

遠藤：イベントなどでは、明るい選挙推進協会キャラクターの「選挙のめいすいくん」と一緒に歩いているおかげで、小さい子どもたちが「めいすいくんだ」と言いながら集まってきてくれます。子どもから大人まで、選挙というものを身近に感じてくれているのが実感できて、とてもうれしくなりました。

福島：笹塚地区では、毎年9月ごろに帝京短期大学で選挙に関する授業をさせていただいています。平成28年に選挙権の年齢が満20歳以上から満18歳以上に引き下げられたこともあり、若い人たちにも身近な問題として捉えてもらえるようになりました。「期日前投票があることを知らなかった」という学生

の言葉を聞いて、基本的な知識を伝えることの大切さを感じました。若い人たちが自分たちの未来を考えるお手伝いができたらいいと思っています。

### —— 選挙権が18歳に引き下げられたことの発言がありましたが、皆さんはどのように感じていますか？

小山：渋谷区は、平成28年の参議院議員選挙の18・19歳投票率が、全国平均に比べて約16%も高かったんです。若い世代が活発な地域でもありますので、この結果はとてうれしかったですね。若い人たちが政治に興味を持って投票に行けば、いい効果が生まれるのではないかと考えています。

竹村：当初は、子どもたちが選挙に参加できても、各政党の公約の内容などは身近に感じられないだろうなと思っていました。でも渋谷区の投票率がとても高かったで、これは家庭での教育の賜物だと思いました。お父さんやお母さんが子どもと一緒に選挙に来てくれるだけでも、子どもが選挙について考えるきっかけになります。小中学生のうちから模擬投票など選挙を勉強する機会も提案していきたいですね。身近な事柄から学んでいけば、より一層選挙に対する関心が高まり、18歳になって投票する時には、しっかり考え、意思を持って一票を投じられるようになるのではないのでしょうか。

福島：私もとても良いことだと思います。18歳と聞くと、まだ子どものイメージがありますが、社会全体の中で生きているということを実感できる年齢だと思います。例えば小学校で児童会の役員を選出したり、中学校では生徒会役員を選出したりと、学校という社会の中でも、代表者を選ぶ経験はたくさんありますよね。それは政治の仕組みにつながっています。18歳でも社会について考える力がありますので、若い人に向けた勉強の機会をもっとつくっていきたくて考えているところです。

### —— 今後の目標や、有権者である区民の皆さんへメッセージをお願いします。

布上：選挙に興味を持つことは、自分の身の回りのことを考えること。より良い社会、より良い未来を作るための、大切な一票です。「日本の未来をつくるあなたの一票」という気持ちをみんなに持っていただいて、投票率を1%でも上げることが目標です。

竹村：私が委員になった時は、渋谷区は23区の中でも投票率が低かったのですが、最近では少しずつ上がってきました。これはやはり地道な活動を続けてきた努力の結果だと思います。有権者の皆さんは大切な一票を持っています。選挙の時はぜひ投票所へ足を運んでください。

遠藤：究極の目標は、私たち明るい選挙推進委員の活動がなくなることではないでしょうか。皆さんが、投票に行くことは当たり前のことだと理解して、全員が社会のために投票をしてくれたら、私たちの活動は必要なくなります。そうなるためにも、まずは1人ひとりに投票へ行くことの大切さ、自分たちにとって住みやすい社会になるきっかけだということを伝えていきたいです。もし選挙について疑問があれば、どんな小さなことでも私たちに聞いてほしいですね。

小山：渋谷区が、10代から高齢者に至るまでみんなが自由に話せる地域になったらいいと思います。街の話や選挙の話など、自由にものを見て、自由に話せる雰囲気が大切ですね。それが明るい選挙につながっていくのではないのでしょうか。

※明るい選挙推進委員の皆さんのインタビューは、6月20・27日「渋谷隣人祭り」で放送予定。



まずは身近な事柄から学んでみるのが大事だと思います。

たけむら  
西原地区 竹村あさみさん



どんな小さな疑問でもぜひ私たちに聞いてください。

えんどうあいこ  
恵比寿地区 遠藤栄子さん



若い世代へ向けた勉強の機会をつくっていきたくて。

ふくしまみさお  
笹塚地区 福島操さん



楽しみながら選挙を理解していただければと思っています。

ぬのがみふみこ  
千駄ヶ谷地区 布上夫美子さん



選挙に関する広報誌

東京都議会議員選挙の期日前投票については、4ページをご覧ください

※紙面に掲載している情報は、29年6月15日現在のものです。

関広報コミュニケーション課広報聴係 ☎3463-1287 📠5458-4920

<p>渋谷区の番組を放送中です</p> <p>ラジオ しぶや区ニュース (10分間) 月~木 11:00/16:00/21:50 「しぶや区ニュース」の情報を発信します</p>	<p>渋谷隣人祭り (45分間) 火 11:10 渋谷区で活躍する人たちが登場します</p>	<p>ラジオ しぶや区ニュース(区長の部屋ほか) (10分間) 金 11:00/17:00/19:50 長谷部健 渋谷区長が出演する場合があります</p>	<p>渋谷のくらし (30分間) 土 9:00 地域の催しなどの様子を伝えます</p>
--	--	---	---

渋谷区 × 渋谷のらじお とは？

「しぶや区ニュース」では毎号、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しぶや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面をお届けしています。

周波数: 87.6MHz FM ☆公式アプリでも聴取可能

住所 | 渋谷区3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 6712-6876  
FAX | 5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | https://shiburadi.com/